



エコ・ちがさき

こどもも

おとなも

だいすきな



楽しみを見つけませんか！
お仲間と、一緒に…

小和田地区コミュニティセンター

「小和田バス停から北へ徒歩5分。
落ち着いた環境に佇む瀟洒な2階建て。
開設後30年とは思えぬスマートさと清潔感。
そこが小和田地区コミュニティセンター（以下、
コミセンと略）です。

この土地には千年ほど前から人が住み着いたそう
で、最近のマンション建設の折にも古跡が発掘され
るなど、歴史的にも由緒ある地域と知りました。



頻繁なサークル活動の利用

登録サークルは100を超え、この内60
以上が頻繁に利用しているとのことです。

ユニークな自主事業

平成28年度には「第12回包丁研ぎ講習会」
「第6回書初め教室」「第2回市内公共施設見学
会」などが実施されました。



▲会計担当：中田一夫さん



▲管理運営委員会会長：

白井精治さん



▲事務責任者：新倉昭人さん

志高く運営される方々

会長の白井さんは千手院・熊野神社などの責
任者を、事務統括の新倉さんは小和田地区自治
会連合会会長を、また中田さんは赤松自治会長
など兼ねておられ、お話から地域文化活動への
情熱と高い志を感じました。



▲大広間を利用していた団体の
「ダンベルさくら」さん



▲ワイドな鏡もある会議室

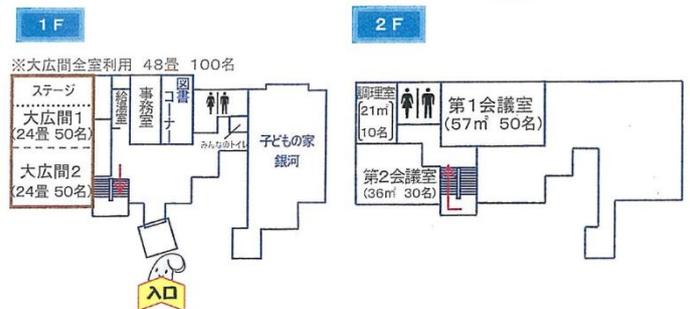
設備は・・・

大広間（2）、会議室（2）、調理室、ラウンジを
備え、市図書館の本をコミセンで借りられ、返却で
きる図書コーナーがあります。

また併設された、子ども
の家「銀河」では小学6年生ま
での子ども達が自由に遊べま
す。



▲すべり台



今後の課題

利用高齢者の交通アクセスの問題や、マンシ
ョン居住の子育て世代のニーズへの対応などの
課題があるとのことです。

◆所在地：小和田一丁目22番60号

◆電話/FAX：0467-52-9016

まなびの市民講師紹介



P2. 自然観察講師 鈴木 進さん

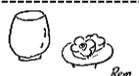
P3. 合気道指導者 小島 三男さん

市民講師登録人数 80人 (平成29年5月1日現在)



エコ・ちがさきの編集委員のなかまになりませんか？

初心者大歓迎！新しい仲間づくりと編集や取材の面白さで、あなたの新しい世界が開けますよ。

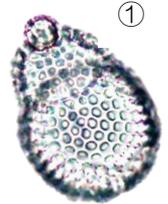


あなたの学びのお手伝い

自然観察講師 鈴木 進さん

「愛しの放散虫」

鈴木さんは、温厚なお人柄に加えて神奈川県地学会会長として会得された深い知識と、理科の先生としてのご経験をお持ちの方です。誰でもわかりやすく、楽しくかつ為になるお話を伺えました。



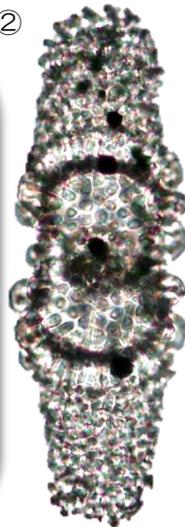
③



放散虫とは？

放散虫は、海に生息する単細胞の原生動物で、その死骸がマリンスノーとなって沈み、同じく海底に降り注いだ堆積物からできた岩石に含まれています。古生代に出現し、大きさ0.2mmほどの放散虫化石の形は美しく、写真のように様々な形をしています。長い時間をかけて少しずつ形が変化し種類が増えました。岩石から取り出した放散虫化石の種類を調べることで、地層の年代を知ることができます。そこで、放散虫化石は、地層の年代を調べる重要な示準(しじゅん)化石とされています。

②



▶種名(学名)

①Cyrtoapsella japonica
(シルトカプセラ ジャポニカ)
1250万~1000万年前に生息

▶種名(学名)

②Diarthus petterssoni
(ディアルツス パッターソニ)
1202万~880万年前に生息

※①②は姥島で採取

◀種名(学名)

③Didymocyrtis violin (ディディモシルティス ヴァイオリナ)
1900万~1505万年前に生息
横須賀市野比海岸で採取

※①②③は長径0.3~0.15mm

鈴木さんの研究生活

…放散虫との出会いから

鈴木さんは、大学で化学を専攻され、市内の松林中学校を始め長年中学校で理科の教鞭をとられた方で、「県立総合教育センター」で教員として「地学」の教育を受けられたのがきっかけで、その後教える立場にも立たれました。その過程で、地層の年代を推定できる放散虫化石と出会われ、その美しさと多様性に魅せられたそうです。放散虫化石の研究から、えぼし岩を含む三浦半島から大磯丘陵までの神奈川県南部の大地は、北上するフィリピン海プレート上の水深約2000mの海底で約1800万年前~約400万年前に堆積した地層が、その後日本列島に押しつけられてでき上がったそうです。

鈴木さんは、研究のため三浦半島全域を歩き回られ、奥様のご理解で自宅の一室とベランダを研究室として、採取された岩石から放散虫化石を抽出して顕微鏡で観察されるそうです。

退職されて約10年「三浦半島活断層調査会」に所属して研究を進められ、現在は土砂災害防止にも関連する浦賀の「愛宕山の地質」を調査中と伺いました。また、堪能なPCを駆使して本の編集と各種パンフレットを作製中で、講演等も何度もされておられて現在多方面で活躍中です。



まなびの市民講師に

なられたきっかけは？

退職校長会で「市民講師」の存在を知り、地元の茅ヶ崎市民に「地質」に付いて身近に感じてもらいたいとお考えから講師に登録されたと伺いました。

講義をお願いするには？

演題「神奈川県地質と放散虫化石」等で自治会向けのご実績も約20回程お有りです。収集された数々の美しい放散虫化石の画像や標本等を見せていただけそうです。

「夏休みの自由研究のための講座」も可能だそうで、講義は50人程度、屋外観察は20人程度までで、お子さんは安全のため付き添いが必要です。



鈴木進さんのご連絡先 ☎ : 0466-83-2266

「まなびの市民講師」の横顔

合気道講師 小島 三男さん

「攻撃しない武術、和の武道」



現在は、合気道一本です。武道に関しては、20代の頃は空手道をやっていたが30代で合気道と出会い、並行して空手の稽古もしていました。

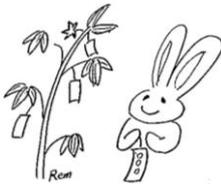
攻撃してくる相手の力を利用しての投げ技や抑え技で制し、相手との接点が無くなれば何もせん。

「力」を必要としないので、小柄な方、非力の方でも大丈夫で、相手の攻撃を回避する事が出来るようになります。自分から攻撃をしない事から「和の武道」と言われている所以です。攻撃しないので試合は成立しないので、ありませんが、日頃の稽古の成果を披露する演武大会等があります

受け身を身につけてほしいですね…

稽古を重ねれば力を抜くことを身体が自然に覚え、いざという時に反射的に受け身が取れるようになります。

しなやかに転べば怪我等を避けられるので、年齢・性別は問いませんが、特に小さい頃から習って欲しいです



まなびの市民講師を

始めたきっかけは？

市の広報誌を見て登録しました。多くの方に受け身だけでも覚えて欲しいと思ったのがきっかけです。

転倒が原因で亡くなる方が、交通事故で亡くなる方より多い昨今、受け身が出来れば「最悪の事態を避けられ、怪我の防止にも役立つのでは」と思いました。

おすすめですよ…

自分の身と大切な人も守れるのが良いですね、合気道は、各種武道の要素が多く含まれた総合武道です。

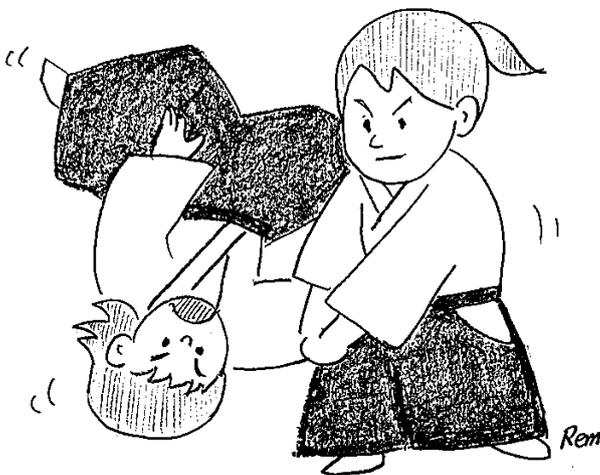
立つ事、座る事が出来れば何方でも、年齢・体力に合わせた稽古が出来ます。

従いまして、誰にでも出来る護身術であり、健康法・美容法でもあります。

稽古を重ねる事で、動的な柔らかさと静的な柔らかさが重なり、よりしなやかになり怪我をしにくい身体になります。合気道の全身運動により基礎代謝が向上し、血流・体温（平熱）が上昇し免疫力がアップしてバランスのとれた健康的な身体になる事が期待出来ます。

健康寿命を延ばせる事で神奈川県でも推奨しています。「未病の改善」に貢献出来たらと思います。

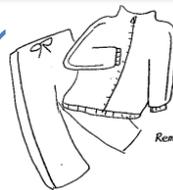
自然と相手の動きを予測できるようになりますので、他のスポーツをする時にも役立ちます。



講座を開くには？

人数は30人位までで畳の部屋が良いでしょう。必要なものは、タオル、水分、トレーニングウェア等で充分です。

その他、相談に応じます。



取材を終えて…

他にテニスも楽しまれているそうで、今は剣道やキックボクシングにも興味がおありとか。

根掘り葉掘りの質問にも穏やかな笑顔で丁寧に答えてくださいました。



小島三男さんのご連絡先 ☎:080-1037-9769 メール: aikido_kojima@docomo.ne.jp

私の第一歩



仲間作り「洋裁」 井上 文江さん

3人目の息子が社会人として家を出た後、何かをしたいと考えていました。そんな時、職場のお客さんから、洋裁を教えてほしいと声をかけられ、自宅で教え始めたのがきっかけです。口コミで多くの人が集まり、30代から80代近くまでの多くの仲間と出会い、16年も続いております。皆さんからの好意で、ミシンや、生地、ボタンなどの寄付もたくさんいただき、支えられています。近年は着物リフォームや、帯を使ったバックづくり等、オリジナルなものをどんどん作っています。「作りたいものを作る」そのスタイルは変わりありません。初心者でも、経験者でも、作る喜びにあふれて、笑顔が広がっています。学ぶこと、無心で作れること、夢を持てること、生き生きした仲間と過ごすこの時間は宝物といつも思っています。介護中の人、病人を抱えている人、あるいは本人が病気の人もいます。「今日は具合が悪かったけれど、やっぱり来てよかった!」「雨だけど頑張ってきてよかった」そんな仲間の言葉に私も元気を貰っています。

ご連絡先：0467-52-6868
(代表：井上 文江さん)
会員数：35人

会費：月額 1,500~2,000円 入会金無し
日時：火・水・木・金の4グループ 月3~4回 9:30~12:00
火・水・木の3グループ 月3~4回 13:00~15:30
場所：茅ヶ崎市菱沼



近ごろ思うこと

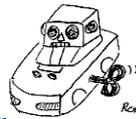
まなびの市民講師 白石 英剛さん

“竹とんぼ教室は学び舎”

茅ヶ崎竹とんぼ教室は、活動開始から14年の歳月を経て、その間に学んだ子の数は、ほぼ5000人に達します。教室での子ども達は、単純な素材と設計でありながら、飛ぶための条件がある竹とんぼの作り方、飛ばし方のコツを学ぼうと目を見開き、耳をそばだてて真剣そのものです。竹とんぼ先生と一緒に手をとり、一喜一憂することで自身も学び共感します。見る見る上達する子達の創造の喜びと感動の笑顔こそが、私が目指している『楽しみながら学ぶ』学習活動の目的であり目標なのです。



街角



『街角のプリキ屋さんは今・・・』

今年、「明治150年」に当たるとか。今でも文明開化を象徴する「煉瓦建」を見る事が出来ます。富岡製糸場（明治5年竣工）、横浜赤レンガ倉庫（明治44年竣工）、等々は、茅ヶ崎から日帰りの行程です。

さて、当時輸入された英国産最高級品の赤煉瓦は、錫メッキされた薄い鉄板の箱に納められていたそうです。これを見た先人達は、焼き物の煉瓦より当時珍しかった薄鉄板に興味を示して“What is this?”英国商人は、箱の中身を“this is BRICKs”との回答したようです。私同様、先人達もヒヤリングが得意で無かったようで、薄板の名前を『プリキ』と理解した様です。鉄の薄板は錆ですぐ穴が開き、これと同じく防錆のために亜鉛メッキされた『トタン』（語源不明）と合わせ屋根材等に多用されて、どこの街にも板金加工業の『プリキ屋さん』のお店が有りましたが、最近は、多種多様な建材の普及で、街で見掛ける事も少なくなりました。

Capt.G

編集後記

風薫る五月となりました。薫風とは南の国からの夏を告げる風のことで、ロマンを感じます。「五月晴れ」は爽やかな青空をイメージさせますが、旧暦五月は皐月（早月）とも書き、現在六月頃ですから五月雨は梅雨で、「五月晴れ」は梅雨の晴れ間を云ったようです。田植えする女性を早乙女とは、早月から来ています。旧暦の話はこれ位にして、自然に親しむにも、スポーツを楽しむにも、心地よい季節となりましたね。



ひととき 短歌（伊藤要次選）

うすれゆく茜の空に鳥の影何事もなく暮れる一日
藤川 久美



介護受くる人の詠む歌身に沁みぬ生きる切なさ胸にせまりて
根津 玲子

俳句（清水吞舟選）

風光るクルスの如き機影かな
松尾 みどり

雑巾も縫へぬ子に説く針供養
川島 智子

青き踏む四百年の関ヶ原
森村 とき子

*未発表の短歌・俳句作品を募集しています。下記あて先へ6月1日（木）までにご連絡ください。

*次号（第78号）の発行予定は、平成29年8月1日です。

いつでも どこでも だれでも なにからでも

発行・編集 エコー・ちがさき編集委員会

〒253-8686 茅ヶ崎市茅ヶ崎一丁目1番1号 茅ヶ崎市文化生涯学習部文化生涯学習課

TEL0467-82-1111(代表) FAX0467-57-8388 E-mail: bunkashougai@city.chigasaki.kanagawa.jp

PC用 URL <http://www.city.chigasaki.kanagawa.jp/> 携帯用 URL <http://mobile.city.chigasaki.kanagawa.jp/>

